

## 芸術科（書道 I）「仮名の鑑賞の授業～ICTの活用を通して～」学習指導案

広島県立呉三津田高等学校

(教諭・古谷よしみ)

## 本学習指導案のポイント（高校教育指導課指導主事 山田 和大）

生徒は、本単元で初めて仮名の書に触れていきます。最初から仮名の書の表現を行うのではなく、仮名の書特有の美しさを生徒自身に感得させるために、現代の書家や先輩生徒の臨書を含む本物の書を鑑賞し、書を構成する要素に着目しながら、仮名の書の価値を考えさせるという工夫がなされています。鑑賞により書を構成する要素を分析することで、表現をする際にも書を構成する要素を意識しながら臨書や散らし書きができるように計画がされています。

1 実施日：令和4年10月27日（木）（3時間目：10時50分～11時40分（50分））

2 学年・学級：1年6組（男子10名・女子5名）

3 単元（題材）名：仮名の書

4 単元（題材）について

(1) 単元（題材）観

本単元は、学習指導要領芸術（書道）書道 I B 鑑賞（1）ア（ア）作品の価値とその根拠及び 2 内容（3）A 表現 ウ（ア）古典に基づく基本的な用筆・運筆（イ）連綿と単体、線質や字形を生かした表現を踏まえ設定した。

(2) 生徒観

全体的には、主体的に意欲を持って学習に取り組む生徒で、他者と協働して物事を進めることのできる生徒である。仮名の書に対しては、約7割の生徒は興味関心を持っている。生徒達には日本独自の文字文化に親しみをもち、仮名の美や価値について考えることで、仮名独自の美しさを感じ、主体的に学習を進めてくれると期待している。

(3) 指導観

本単元では、仮名の美や価値について考えさせたい仮名作品を鑑賞させ、文字、全体構成、用具用材等について考えさせることにより、仮名独自の美しさや価値に気付かせ、理解させたい。表現する際には、仮名独特の細く鋭い線質と、流れる様な筆使いを習得させたい。さらに、いろは歌と、高野切第三種の臨書を行い、単体・連綿を身に付けさせたい。また、百人一首の散らし書きを行うことにより、意図に基づいて構想し、表現を工夫する力を身に付けさせたい。さらに、ipadを活用することで主体的な学びに結び付けたい。

5 単元（題材）の目標

(1) 線質や書風と用筆運筆の関わりを理解し、古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付ける。（知・技）

(2) 知識や技能を得たり活かしたりしながら、用筆・運筆、字形、全体の構成を構想し工夫する。（思・判・表）

(3) 仮名の伝統文化や価値について考え、主体的に取り組んでいる。（学びに向かう力・人間性）

6 単元の評価規準〔例〕※旧課程の観点です。新課程の授業の場合は観点を変更してください。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・線質や書風と用筆・運筆の関わりを理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。	・知識や技能を得たり活かしたりしながら、用筆・運筆、字形、全体の構成を構想し工夫している。 ・仮名作品の価値や根拠について味わい考えている。	・仮名の伝統文化や価値について考え、表現及び鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。

7 指導と評価の計画（全10時間）

次	学習内容（時数）	評価				
		知・技	思・判・表	主	評価規準	評価方法

第1次 (本時)	・仮名の成立について知る。 ・仮名の美や価値について考える。		○		・仮名作品の価値や根拠について味わい考えている。	・Jamboard ・観察
第2次	・仮名の基本的な筆使いについて知る。 ・いろは歌を書く。	○			・線質や書風と用筆・運筆の関わりを理解している。	・作品
第3次	・高野切第三種を臨書する。	○			・古典に基づく基本的な用筆・運筆、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。	・作品
第4次	・百人一首の散らし書きをする。		○	○	・知識や技能を得たり活かしたりしながら、用筆・運筆、字形、全体の構成を構想し工夫している。 ・仮名の伝統文化や価値について考え、表現及び鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	・作品 ・スライド

8 本時の展開

(1) 本時の目標

ア 仮名の美について考えよう。

(2) 観点別評価規準

- ・仮名作品の価値や根拠について味わい考えている。(思・判・表)
- ・仮名の伝統文化や価値について考え、鑑賞の幅広い活動に主体的に取り組んでいる。(主)

(3) 準備物

・教科書      ・ワークシート      ・ipad      ・鑑賞用仮名作品

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
導入 5分	○前時の復習と本時の内容を確認する。			
仮名の美（価値とは）とは何か。				
展開① 10分	○仮名の手紙を漢字の手紙を見てどちらが好きを考えさせる。 ○仮名の変遷について理解させる。	・選んだ理由も発表させる。 ・ワークシートに記入させる。 ・女手には仮名と変体仮名があることを理解させる。	●仮名の伝統文化について理解する。	・ワークシート
展開② 20分	○仮名の美（価値）について考える。	・後方に掲示してある仮名作品を見ながら仮名の価値(美しい所・良い所)をグループで考え、Jamboardにまとめる。 ①文字・線について②全体構成について③用具用材について④その他についてまとめさせる。 ・jamboardに記入の際は美しい(価値がある)と思う箇所だけでなく、根拠を画像や言葉で記入させる。	●仮名作品の価値や根拠について味わい考えている	・観察 ・jamboard
展開③ 10分	○発表する	・数班指名し、発表させる。		
終結 5分	○まとめ  ○挨拶	・仮名の書の価値について生徒の発表をもとにまとめる ・次時からは実際に仮名を書くことを伝える。		